



こんにちは。  
町長です。

## ～小学校統合について～

新型コロナウイルス感染症のオミクロン株が猛威を振るい当町でも多くの感染者を数える状況となっております。町民の皆様にはワクチンの追加接種(3回目)も始まっておりますので、ご利用いただくとともに普段からの感染予防対策の徹底を引き続きお願いを申し上げます。

さて、コロナ禍の影響もあるかも知れませんが当町の少子化のスピードも加速化しており、令和3年度の町内出生者数は20人となってしまいました。町の子育て支援は県下でもトップクラスの手厚い施策を行っておりますが、その効果も現れない厳しい現実となっています。やはり雇用の場の確保や住宅対策、結婚支援など若者定住のための施策を総合的に進めないと少子化の歯止めは非常に厳しいものと思っております。

このような少子化の現状の中、町内4校ある小学校の極小規模化が進み複式学級が増加するなど子どもたちの学校での生活や、学習指導・学校運営等で様々な課題が出現しております。町教育委員会では、このような現状を踏まえ令和元年度に「小鹿野町学校教育推進会議」、令和2年度に各小学校ごとに「地区学校推進協議会」を設置し、PTAや学校教育支援者等の皆様に参加いただき、今後の小鹿野町の学校教育のあり方や望ましい教育環境等についてご協議いただきました。その中で特に小学校統合についての様々なご意見をいただき、教育委員会が早急に考え方や方向性の案を示すべきなどのご提言を賜りました。

これらのご意見ご提言を踏まえ令和3年度、教育委員会で「小鹿野町の小学校再編整備方針及び実施計画(案)」をとりまとめ、地域代表者、保護者代表者、学校教育・社会教育関係者等で構成する小鹿野町教育審議会にその案について諮問し、本年2月15日付け審議会から答申をいただきました。

答申の概要は、小学校統合を進めることが望ましい。ただし、小学校統合の基本方針及びスケジュールについては、①三田川小学校、長若小学校、両神小学校を小鹿野小学校に統合する。②統合年度は、令和6年4月から令和8年4月までの間とすることが望ましい。具体的な統合年度は教育委員会が各地域での説明会、保護者等へのアンケートなどを実施し決定していくことが望ましい。③統合の方法は、一斉統合と段階統合のどちらの方法がより望ましいか審議会での意見の一致をみることが出来なかったため、統合年度同様の対応方法が望ましい。などの内容となっております。

今後、教育委員会ではこの答申を尊重し、各地域での説明会の開催や保護者等へのアンケート調査の実施などを踏まえ、小学校統合の成案をとりまとめていくこととなります。私としては統合が現在や未来の子どもたちにとって良かったと思えることが一番だと思いますので、ぜひ「子どもファースト」で統合の議論をしっかりと進めてもらうことを願っています。

小鹿野町長 森 真太郎